



NO.1012
2015/3/22
発行所
日本共産党
網走市委員会
網走市北八西三
四三三・四四五八
F四三三・四四五七



3月議会へ介護保険料値上げ条例及びマイナンバー制度導入の補正予算に反対!

3月10日開催の本会議において、網走市一般会計補正予算中、マイナンバー制度導入事業及び第6期の介護保険事業計画にもとづく介護保険料を値上げする条例改正に共産党は反対しました。

昨年9月議会でも社会保障・税番号制度導入に伴い、厚生労働省所管分の電算システムの改修費用についての追加補正で反対し、平成27年度に繰越明許費になったことから再度反対致しました。

飯田議員は討論の中で「マイナンバー制度は、全ての国民に番号をつけ、個人情報情報を国が一元的に収集、利用するもので、日本弁護士連合会も反対しています。個人情報漏洩のリスク払拭できず、番号が悪用される危険性があります。また、本人の承諾無しに、捜査機関が情報収集できることになっています。さらに、マイナンバー制度導入の一番の狙いは社会保障の給付削減・抑制のために利用するものであり、市民が不利益となるシステムの整備については認められませんが」と述べました。

この法案は、安倍自民公明政権が、この制度を今年10月から本格実施するために準備を進めているものです。政府は「行政手続きが便利になる」などと言っていますが、多くの国民が制度を知らないうえ、膨大な個人情報を知りながら握ることへの懸念、情報漏れの不安も広がっています。国民のプライバシーを危うくする仕組みづくりを強引に推進することは乱暴です。

今後3年間の介護保険料は基金投入しても値上げされる!

市介護保険条例の一部を改正する条例は、本会議で第6期網走市高齢者保健福祉計画・網走市介護保険事業計画にもとづく介護保険料額値上げを共産党を除く議員の賛成で可決されました。

飯田議員は反対討論で第5期の保険料は、7段階の中で、第4段階を基準額に4710円でしたが、今回の保険料改正において、基金約1億6000万円のうち、1億円を取り崩して保険料の急上昇を抑えたが、4840円に上がります。所得段階を11段階にして市独自の基準額を第2段階、第4段階など設け、第5段階を基準額にし格差の調整をする努力については認めます。しかし、介護保険に加入している高齢者は僅かな年金から保険料が天引きされて暮らしが大変という中、年金が毎年下がり、消費税は上がり、アベノミクスで日用品の物価が上がるなどの大変な状況になっています。

今回の改正でも、第1段階から第5段階までの市民税非課税の低所得者は合計で62.5%になります。3年ごとの事業計画のたびに保険料は上がり続け、高齢者が社会保障の負担で暮らしが圧迫され続けているのが現状であり、市独自の減免制度や他市町村でも行っている一般会計からの繰り入れなどで、これ以上の保険料の引き上げをすべきではありません。と負担の軽減を求めました。

菊地ひろし まっしぐら

2月22日付けまっしぐらで、大曲の市営住宅の階段手すりの破損のことを書きました。「手すりの心材がむき出しで、ぶつかれば大ケガをするので至急対応してほしい」との申し入れに「少し時間がかかるけれども対応します」との事でした。しかし3月15日に現場を確認したところ、以前と変わらず危険な状態のままでした。

部品の確保の問題や業者の仕事の都合など、遅れの原因はいろいろ考えられますが、何より住人の安全を第一に、修理が完了するまでの間の応急手当（むき出しの心材部分をクッション材で覆うなど）を含めて市担当者や業者のみなさんが連絡を密にして、早く修復させてほしいと思います。

松浦奮戦メモ

予算等審査特別委員会の審査が事実上終わりました。共産党議員団は、連日質問に立ちました。私は総務費では、官製ワーキングプア問題、冬季の避難所停電対策、固定資産税など。民生・衛生費では、生ごみ堆肥化検証事業、障がい者就業実態基礎調査、子ども・子育てなど。商工・農林水産・観光費では、商店街空き店舗活用事業、勤労者共済会、消費税増税の影響、中小企業融資制度、農業の担い手など。土木・教育費では、市営住宅の来客用駐車場の設置、住宅前の間口の除雪対策、鱒浦4丁目住宅地の法面対策、就学援助制度について質問しました。

今回確認できたのは、市住の来客用駐車場は設置されません。就学援助は、H25年に生活保護費が削減されたため今年から影響がでることが懸念されていました。H25年度の水準を守ることが約束されました。

流水

三月に入り、国会近くの通学路にはピンクやホワイトの梅の花が咲き始めています。北海道は、まだ、雪の中。寒さと暖かさが交互にやってくる季節です。

それでも八日に北海道で行われた国際女性デーは、春がいつぱい、熱気がはじけていました。会場は通路も埋まるくらいたくさん参加者▼記念講演は、作曲家の池辺晋一郎さんです。「音は生き物だ」「犬の散歩と似ている」と。「えっ! どういうこと?」と思わず身を乗り出して聞き入りました。音楽というのは、感性に訴えかけていくものですが、音符が、偶然並んでできているわけではない。旋律作りは、非常に考えられている、と。エネルギーが満たされていく音の並び、音は抑制されたり、開放されたりしながらメロディーが成り立っているのだと、気付かされました▼池辺さんは、音楽家も、世界の平和のことを意識しなければ、ならないと強調されました。とても興味深く、楽しい講演でした▼国会でも新しい息吹でエネルギーが満ちあふれました。衆議院予算委員会などで、新しく当選した議員の皆さんが、続々と初質問に立ちました。一人ひとりの真摯な論議は、国政を動かす、間違いなく前向きな影響を与えています。▼旋律を奏できるように、人々のエネルギーも前に向かって進めたいと思います。十六日から、予算委員会の舞台は参議院に移りました。

参議院議員 紙 智子